慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	現代中国の航空交通管制と安全保障 : その空軍力建設と軍民関係の一側面に関する研究
Sub Title	China's air traffic control and security policy : military power and civil aviation
Author	安田, 淳(Yasuda, Jun)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2020
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)
JaLC DOI	
Abstract	現代中国の航空交通管制とその安全保障政策との関係について、前年度に引き続き研究を進めた。今年度は、中国青島空港をめぐる航空交通管制の状況を実地に視察し、中国における航空関係者から意見や状況を聴取した。また、航空会社の協力を得て、ライン運航に当たり実際の航空交通管制がどのように行われているか、航空無線を傍受する等のことからその実態を観察した。 中国青島市では、新しい国際空港が建設され、すでに供用可能な状況になっているにもかかわらず、近接する中国空軍基地が何らかの影響を及ぼしているため、その開港が遅れていることなどが明らかとなった。それと同時に、現用の青島空港の利用状況が極めて活発であり、中国の経済成長にとって大きな役割を果たしていることも明らかとなった。 それらのことにより、中国では航空交通管制がまだなお軍事建設に大きく左右されているとともに、しかし民間経済成長という観点から、軍事も民間との協調関係を築かなければならなくなっていること等が推察された。こうしたことは、今後の中国の安全保障政策を分析する上で非常に有用な視点を提供するとともに、それを視野に入れた日本の安全保障政策が策定されるべきであるとの結論に至った。また、日本の航空交通管制の地位や果たす役割について、安全保障上の考慮や措置が施されることは有意義であるという展望が得られた。 ・ Air Traffic Control at Qindao airport, China ・ China's security policy and Chinese Air Force power toward China's air traffic control system ・ The relationship between air power and civil aviation
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190049

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019年度　学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

2020年5月11日

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	補助額	300 （A） 千円
	氏名	安田 淳	氏名（英語）	Jun YASUDA		

研究課題（日本語）

現代中国の航空交通管制と安全保障ーその空軍力建設と軍民関係の一側面に関する研究

研究課題（英訳）

China's Air Traffic Control and Security Policy; Military Power and Civil Aviation

１．研究成果実績の概要

現代中国の航空交通管制とその安全保障政策との関係について、前年度に引き続き研究を進めた。今年度は、中国青島空港をめぐる航空交通管制の状況を実地に視察し、中国における航空関係者から意見や状況を聴取した。また、航空会社の協力を得て、ライン運航に当たり実際の航空交通管制がどのように行われているか、航空無線を傍受する等のことからその実態を観察した。

中国青島市では、新しい国際空港が建設され、すでに供用可能な状況になっているにもかかわらず、近接する中国空軍基地が何らかの影響を及ぼしているため、その開港が遅れていることなどが明らかとなった。それと同時に、現用の青島空港の利用状況が極めて活発であり、中国の経済成長にとって大きな役割を果たしていることも明らかとなった。

それらのことにより、中国では航空交通管制がまだなお軍事建設に大きく左右されているとともに、しかし民間経済成長という観点から、軍事も民間との協調関係を築かなければならなくなっていること等が推察された。こうしたことは、今後の中国の安全保障政策を分析する上で非常に有用な視点を提供するとともに、それを視野に入れた日本の安全保障政策が策定されるべきであるとの結論に至った。また、日本の航空交通管制の地位や果たす役割について、安全保障上の考慮や措置が施されることは有意義であるという展望が得られた。

２．研究成果実績の概要（英訳）

・Air Traffic Control at Qindao airport, China
・China's security policy and Chinese Air Force power toward China's air traffic control system
・The relationship between air power and civil aviation

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名（著者・講演者）	発表課題名（著書名・演題）	発表学術誌名（著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月（著書発行年月・講演年月）